

第2 成人保健事業

健康増進法第17条に基づく事業を実施している。

1 健康手帳の交付

市民が各種検診（健診）の受診に関する記録や、健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に役立てるための健康手帳は、市ホームページからダウンロードできる。

2 健康教育

生活習慣病の予防やその他健康に関する正しい知識の普及を図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を図るための健康教育を行っている。

(1) 実施状況

(単位:回・人)

	R 3 年度		R 4 年度		R 5 年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
一般	15	169	27	395	34	547
歯周疾患	—	—	—	—	1	28
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	—	—	—	—	—	—
ロコモティブシンドローム	—	—	—	—	—	—
病態別	—	—	2	42	1	105
計	15	169	29	437	36	680

(2) 健康講座

市政だより、チラシ等で参加者を公募し、生活習慣病予防等に関する健康講座を開催している。新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。

3 健康相談

予約制で心身の健康に関する相談に応じ、必要な助言及び指導を行う。

(1) 対象

市内に在住の方

(2) 場所・日時

岡崎げんき館・平日 9 時～16 時

(3) 従事者

保健師、管理栄養士、歯科衛生士

(4) 実施状況

相談内容の内訳（重複あり）

（単位：人）

		R 4 年度			R 5 年度		
		39歳以下	39歳以下	39歳以下	39歳以下	40～64歳	65歳以上
重点健康相談	高血圧	—	—	—	—	1	2
	脂質異常症	—	—	—	—	1	—
	糖尿病	—	1	1	—	1	1
	歯周疾患	—	—	—	—	—	—
	骨粗鬆症	—	—	—	—	—	—
	女性の健康	—	—	—	—	—	—
	病態別	—	—	—	—	—	—
その他の歯科		—	—	—	—	—	
総合健康相談		—	1	—	—	1	3
健診結果説明		—	—	—	—	—	—
禁煙相談		—	—	—	—	—	—
その他		—	—	—	—	—	—
計		—	2	1	—	4	6

4 健康診査

高齢者の医療の確保に関する法律の施行により、医療保険者には、40歳以上の加入者に対し内臓脂肪型肥満に着目した健診（特定健康診査）の実施が義務付けられている。これに該当しない健康増進法施行規則第4条の2第5号に規定される生活保護受給者等に対し、特定健康診査と同等の生活習慣病の予防に着目した健康診査を行っている。

(1) 内容

ア 基本的な健診項目

既往歴の調査（服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む）、自覚症状及び他覚症状の検査、身体計測（身長・体重・腹囲・BMI）、血圧（収縮期血圧・拡張期血圧）、血中物質検査（中性脂肪・HDL-C・コレステロール・LDL-C・コレステロール）、肝機能検査（GOT・GPT・γ-GTP）、血糖検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c）、尿検査（糖・蛋白）

イ 詳細な健診項目

貧血検査（赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値）、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン

ウ 市独自の追加項目

血清クレアチニン（詳細項目に該当しない者）、アルブミン、尿酸

(2) 対象及び実施体制

医療保険適用除外者（生活保護受給者及び中国残留邦人支援給付受給者）を対象に無料で実施

ア 集団健診：市内在住の令和6年3月31日現在、40～64歳の者

イ 個別健診：市内在住の令和6年3月31日現在、65歳以上の者

(3) 期間及び場所

		期間	場所
集団健診	市内巡回型	6月21日～10月31日	岡崎市医師会公衆衛生センター、市民センター等市内12会場
	健診センター型	6月12日～2月29日	岡崎市医師会はるさき健診センター
個別健診		6月1日～10月31日(休診日を除く) ※眼科検査のみ12月31日まで実施	市内協力医療機関

(4) 受診状況

体制別年次推移

(単位：人・%)

	集団健診		個別健診		計	
	対象者数	受診者数 (受診率)	対象者数	受診者数 (受診率)	対象者数	受診者数 (受診率)
R3年度	706	56(7.9)	1,018	337(33.1)	1,724	393(22.8)
R4年度	672	71(10.6)	995	345(34.7)	1,667	416(25.0)
R5年度	775	71(9.2)	1,077	326(30.3)	1,852	397(21.4)

(5) 生活保護受給者の健康管理支援

地域福祉課が行う被保護者健康管理支援事業のうち、事前協議した取組方策を実施する。

ア 健診受診勧奨

健康増進課が実施する健康診査および医療機関の受診が過去に一度もない40～64歳の者について、健康診査個別通知を担当ケースワーカーにより手渡しすることで、健診受診勧奨を実施

イ 健診事後指導

健康診査を受診し、保健指導が必要と判定された者に対して、家庭訪問により保健指導を実施

(ア) 対象

40歳～64歳の、特定保健指導区分における「積極的支援」該当者

(イ) 実施状況

被指導実人数 6件

5 訪問指導

(1) 対象

おおむね40～64歳までの療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族等

(2) 実施状況

被指導実人数 0件

6 がん等検診

健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業等の各種健診・検診を実施している。

(1) 各種健診・検診

ア 体制及び自己負担金額

	体制	集団・センター型	人間ドック型	ミニドック型	個別医療機関型	特定健診同時実施型								
	対象年齢													
胃がん検診 (胃部X線検査)	40～69歳	1,500円	国保・後期 40歳～64歳： 14,000円 65歳以上： 9,300円 集合契約に属する医療保険被扶養者 40歳以上： 12,000円	国保・後期 40歳～64歳： 14,000円 65歳以上： 9,300円	5,000円 2,000円									
	70歳以上	500円												
胃がん検診 (胃内視鏡検査)	50～69歳	4,500円												
	70歳以上	1,500円												
肺がん検診 (胸部X線・喀痰細胞診)	40～69歳	800円												
	70歳以上	300円												
大腸がん検診 (便潜血二回法)	40～69歳	500円				500円								
	70歳以上	無料				無料								
ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査 (単独受診可)	40歳のみ					1,000円								
子宮頸がん検診 (子宮頸癌細胞診/隔年受診)	20～69歳					1,300円		2,300円						
	70歳以上					500円		800円						
ヒトパピローウイルス検査 (単独受診不可)	20～49歳					1,500円		1,500円						
乳がん検診 (マンモグラフィ方向・40～49歳二方向/隔年受診)	40～69歳	1,500円	1,500円 (視触診含む)											
	70歳以上	500円	500円 (視触診含む)											
骨粗しょう症検診 (踵部超音波検査またはDEXA法/隔年受診)	20～69歳	500円	女性のみ基本セットに含む											
	70歳以上	無料												
前立腺がん検診 (PSA検査)	65歳のみ	1,000円	40歳以上の男性のみ基本セットに含む	1,000円		個別のみ 1,500円								
肝炎ウイルス検査 (HBs抗原検査・HCV抗体検査)	40歳及び41歳以上でH14以降に受診歴のない者		無料			無料								

※肺がん検診では、問診の結果、50歳以上で喫煙指数600以上の者に喀痰細胞診を実施

※子宮頸がん検診（個別医療機関型）の際に子宮体がん検診を同時実施した場合の自己負担金額は、69歳以下：3,200円、70歳以上：1,100円

※肝炎ウイルス検診は、HCV抗体検査の結果により、HCV核酸増幅検査を実施

※市民税非課税世帯・生活保護受給者・中国残留邦人等支援給付受給者は自己負担免除。人間ドック型・ミニドック型・HPV検査・ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査は、自己負担金免除なし。

※子宮頸がん検診、乳がん検診については、国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の「子宮頸がん及び乳がん検診のクーポン券等配布」を活用し、無料クーポン券を利用した受診促進を行っている。無料クーポン券対象者は、全ての体制で該当の検診が無料

イ 期間及び場所

	期間	場所
人間ドック型	4月～3月	宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院
ミニドック型	6月～2月	岡崎市医師会公衆衛生センター
集団型	6月～2月	市民センター等市内7会場（岡崎市医師会集団検診車）
センター型		宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院
個別医療機関型	6月～2月	岡崎市医師会協力医療機関
特定健診 同時実施型	4 健康診査	(3) 期間及び場所と同じ

ウ 人間ドック型・ミニドック型

市民のニーズの高い人間ドック型健診として、医療保険者が実施する特定健康診査受診時に、がんの早期発見・早期治療推進のためのがん検診や詳細な検査項目を受診できる体制を整備し、市民サービスの向上を図っている。

(ア) 内容

	人間ドック型	ミニドック型
基本項目	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診(男性のみ)、骨密度測定(女性のみ)、眼科検査、聴力検査、肺機能検査、尿検査、貧血検査、生化学的検査、免疫学的検査、血液学的検査、腹部超音波検査、心電図検査、眼底検査	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、腹部超音波検査
必要者のみ	肝炎ウイルス検診、喀痰検査	
オプション項目 (各検診の対象者に準ずる)	子宮がん検診、乳がん検診、ヒトパピローマウイルス(HPV)検査、ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査	ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査、前立腺がん検診

(イ) 医療保険区別受診状況

(単位：人)

	国保加入者	後期高齢者	集合契約	計
R3年度	11,645	3,334	1,194	16,173
R4年度	11,046	3,720	1,229	15,995
R5年度	10,823	4,299	1,142	16,264

(2) 検診受診状況

ア 胃がん

(ア) 主要指標の年次推移 (単位：人)

	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
対象者	100,584	98,297	226,678
受診者数	16,428	15,899	15,318
受診率 (%)	16.3	16.2	6.8
要精密検査者	1,053	888	958
要精密検査率 (%)	6.4	5.6	6.3
精密検査受診者数	642	628	548
精密検査受診率 (%)	61.0	70.7	57.2
陽性反応適中度 (%)	1.8	1.1	0.7
がんであった者	19	10	7
がん発見率 (%)	0.12	0.06	0.05

※各年度、翌年4月末時点の数値

※対象者は、R 3 年度・R 4 年度は推計対象者数、R 5 年度は40歳以上の男女

(イ) 体制別年次推移 (単位：人)

	集団検診	センター検診		人間ドック型	ミニドック型	個別検診	計
		胃部X線	胃内視鏡				
R 3 年度	1,720	4,268	-	9,625	815	-	16,428
R 4 年度	1,023	3,944	728	9,308	773	123	15,899
R 5 年度	981	3,517	837	9,090	754	139	15,318

(ウ) ペプシノゲン法+ピロリ抗体検査体制別年次推移 (単位：人)

		集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	個別検診	計
R 3 年度	対象者	106	409	78	4	-	597
	受検者	89	389	34	3	-	515
	受検率 (%)	84.0	95.1	43.6	75.0	-	86.3
R 4 年度	対象者	36	322	87	7	-	452
	受検者	33	302	42	7	-	384
	受検率 (%)	91.7	93.8	48.3	100.0	-	85.0
R 5 年度	対象者	36	341	44	6	-	427
	受検者	34	312	21	4	-	371
	受検率 (%)	94.4	91.5	47.7	66.7	-	86.9

※人間ドック型は胃内視鏡検査受診者を含む

(エ) 精密検査結果 (令和6年4月末現在) (単位：人)

	受診者数	要精密検査者	結 果				
			異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
男	7,017	594	34	6	290	-	264
女	8,301	364	20	1	197	-	146
計	15,318	958	54	7	487	-	410

イ 肺がん検診

(ア) 主要指標の年次推移 (単位：人)

	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
対象者	100,584	98,297	226,678
受診者数	22,257	21,311	21,072
受診率 (%)	22.1	21.7	9.3
要精密検査者	447	432	357
要精密検査率 (%)	2.0	2.0	1.7
精密検査受診者数	333	358	235
精密検査受診率 (%)	74.5	82.9	65.8
陽性反応適中度 (%)	1.1	1.2	0.6
がんであった者	5	5	2
がん発見率 (%)	0.02	0.02	0.01

※各年度、翌年4月末時点の数値

※対象者は、R 3 年度・R 4 年度は推計対象者数、R 5 年度は40歳以上の男女

(イ) 体制別年次推移 (単位：人)

年度	集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	計
R 3 年度	1,607	4,608	15,038	1,004	22,257
R 4 年度	996	4,457	14,849	1,009	21,311
R 5 年度	980	4,200	14,876	1,016	21,072

(ウ) 精密検査結果 (令和6年4月末現在) (単位：人)

	受診者数	要精密検査者	結 果					再掲	
			異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握	喀痰細胞診受診者数	要精密検査者
男	9,677	202	36	—	104	—	62	199	—
女	11,395	155	30	2	63	—	60	19	—
計	21,072	357	66	2	167	—	122	218	—

ウ 大腸がん

(ア) 主要指標の年次推移 (単位：人)

	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
対象者	100,584	98,297	226,678
受診者数	40,482	38,997	38,867
受診率 (%)	40.2	39.7	17.1
要精密検査者	2,587	2,215	2,275
要精密検査率 (%)	6.4	5.7	5.9
精密検査受診者数	1,314	1,324	1,260
精密検査受診率 (%)	50.8	59.8	55.4
陽性反応適中度 (%)	1.8	2.0	2.0
がんであった者	47	44	46
がん発見率 (%)	0.12	0.11	0.12

※各年度、翌年4月末時点の数値

※対象者は、R 3 年度・R 4 年度は推計対象者数、R 5 年度は40歳以上の男女

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

区分 年度	集団検診	センター 検診	集団(特定) 検診	人間 ドック型	ミニ ドック型	個別(特定) 検診	計
R 3年度	1,052	3,942	400	14,944	1,007	19,137	40,482
R 4年度	619	4,055	385	14,759	992	18,187	38,997
R 5年度	684	3,978	373	14,782	1,010	18,040	38,867

(ウ) 精密検査結果 (令和6年4月末現在)

(単位：人)

	受診者数	要精密 検査者	結 果				
			異常 認めず	がんで あった者	がん以外の疾患で あった者	未受診	未把握
男	16,383	1,141	178	28	425	—	510
女	22,484	1,134	240	18	371	—	505
計	38,867	2,275	418	46	796	—	1,015

エ 子宮がん

(ア) 主要指標の年次推移

(単位：人)

		R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
対象者		74,904	76,175	76,734	73,141	155,310
受診者数		9,179	7,566	8,516	8,038	8,257
受診率 (%)		12.3	9.9	11.1	11.0	5.3
要精密検査者		251	198	249	242	230
要精密検査率 (%)		2.7	2.6	2.9	3.0	2.8
精密検査受診者数		119	114	122	132	135
精密検査受診率 (%)		47.4	57.6	49.0	54.5	58.7
陽性反応適中度 (%)	上段:子宮頸がん	—	0.5	0.8	1.7	0.4
	下段:子宮体がん	—	0.5	—	0.4	—
がんであった者	上段:子宮頸がん	—	1	2	4	1
	下段:子宮体がん	—	1	—	1	—
がん発見率 (%)	上段:子宮頸がん	—	0.01	0.02	0.05	0.01
	下段:子宮体がん	—	0.01	—	0.01	—
無料クーポン券 (再掲)	対象者	2,005	1,930	1,991	1,860	1,855
	受診者数	129	92	137	85	113
	受診率 (%)	6.4	4.8	6.9	4.6	6.1

※各年度、翌年4月末時点の数値

※対象者は、R 3年度・R 4年度は推計対象者数、R 5年度は20歳以上の女性

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	個別検診	計
R 1 年度	1,106 (16)	3,688 (45)	2,202 (-)	2,183 (68)	9,179 (129)
R 2 年度	768 (13)	2,930 (30)	1,803 (-)	2,065 (49)	7,566 (92)
R 3 年度	1,159 (23)	3,007 (31)	2,166 (-)	2,184 (83)	8,516 (137)
R 4 年度	926 (11)	2,921 (27)	2,029 (-)	2,162 (47)	8,038 (85)
R 5 年度	1,109 (18)	2,914 (21)	2,093 (-)	2,141 (74)	8,257 (113)

※()内は、無料クーポン券事業による受診者数を再掲

(ウ) 精密検査結果 (令和6年4月末現在)

(単位：人)

受診者数	要精密検査者	結果 (結果不明者を除く)					
		()は体部受診掲載	異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
8,257(62)	230(1)		62	1	72	-	95

(エ) ヒトパピローマウイルス (HPV) 検査体制別年次推移

(一単位：人)

		集団検診	センター検診	人間ドック型	個別検診	計
R 1 年度	対象者	611	1,944	314	1,536	4,405
	受検者	112	992	69	1,324	2,497
	受検率 (%)	18.3	51.0	22.0	86.2	56.7
R 2 年度	対象者	450	1,452	228	1,425	3,555
	受検者	87	825	37	1,207	2,156
	受検率 (%)	19.3	56.8	16.2	84.7	60.6
R 3 年度	対象者	621	1,430	305	1,484	3,840
	受検者	127	733	50	1,246	2,156
	受検率 (%)	20.5	51.3	16.4	84.0	56.1
R 4 年度	対象者	476	1,328	282	1,458	3,544
	受検者	71	662	44	1,202	1,979
	受検率 (%)	14.9	49.8	15.6	82.4	55.8
R 5 年度	対象者	584	1,323	241	1,472	3,620
	受検者	84	662	34	1,229	2,009
	受検率 (%)	14.4	50.0	14.1	83.5	55.5

※対象者は、子宮がん検診受診者のうちHPV検査対象の者

オ 乳がん

(ア) 主要指標の年次推移

(単位：人)

		R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
対象者		59,801	61,623	62,418	59,496	114,836
受診者数		7,671	6,080	7,361	6,710	6,661
受診率 (%)		12.8	9.9	11.8	11.3	5.8
要精密検査者		711	433	505	471	399
要精密検査率 (%)		9.3	7.1	6.9	7.0	6.0
精密検査受診者数		548	367	360	415	253
精密検査受診率 (%)		77.1	84.8	71.3	88.1	63.4
陽性反応適中度 (%)		3.2	2.8	6.3	5.9	6.7
がんであった者		23	12	32	28	17
がん発見率 (%)		0.30	0.20	0.43	0.42	0.26
無料クーポン券(再掲)	対象者	2,656	2,587	2,499	2,344	2,410
	受診者数	517	285	396	403	282
	受診率 (%)	19.5	11.0	15.8	17.2	11.7

※各年度、翌年4月末時点の数値

※対象者は、R 3 年度・R 4 年度は推計対象者数、R 5 年度は40歳以上の女性

(イ) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	計
R 1 年度	1,181 (105)	3,749 (361)	2,741 (52)	7,671 (518)
R 2 年度	796 (57)	2,945 (194)	2,339 (34)	6,080 (285)
R 3 年度	1,275 (99)	3,391 (269)	2,695 (28)	7,361 (396)
R 4 年度	1,015 (97)	3,187 (265)	2,508 (41)	6,710 (403)
R 5 年度	1,067 (72)	3,147 (188)	2,447 (22)	6,661 (282)

※()内は、無料クーポン券事業による受診者数を再掲

(ウ) 精密検査結果 (令和6年4月末現在)

(単位：人)

受診者数	要精密検査者	結 果				
		異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
6,661	399	93	17	143	—	146

カ 前立腺がん検診受診状況

(ア) 体制別年次推移

(単位：人)

	集団検診	センター検診	人間ドック型	ミニドック型	個別(特定)検診	計
R 3 年度	16	52	7,279	7	125	7,479
R 4 年度	8	50	7,194	9	69	7,330
R 5 年度	3	46	7,298	4	83	7,434

(イ) 精密検査結果（令和6年4月末現在） （単位：人）

受診者数	要精密検査者	結 果				
		異常認めず	がんであった者	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握
7,434	782	75	26	327	—	354

キ 骨粗しょう症

(ア) 体制別年次推移 （単位：人）

	集団検診	センター検診	人間ドック型	計
R1年度	1,096	3,232	8,251	12,579
R2年度	796	2,661	7,240	10,697
R3年度	1,045	2,850	7,931	11,826
R4年度	849	2,820	7,845	11,514
R5年度	908	2,760	7,730	11,398

(イ) 検診結果 （単位：人）

受診者数	結 果					
	異常なし	要指導	要観察	要再検	要精検	治療中
11,398	4,486	—	4,025	—	1,330	1,557

ク 肝炎ウイルス

(ア) 体制別年次推移 （単位：人）

	B型			C型		
	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度	R4年度	R5年度
集団検診	210	110	111	210	110	111
センター検診	1,014	848	801	1,016	850	801
集団(特定)検診	285	300	343	279	298	344
定点(特定)検診	284	299	320	283	291	319
人間ドック	906	916	788	917	917	805
ミニドック	72	71	86	74	71	86
個別(特定)検診	1,228	907	908	1,230	904	911
計	3,999	3,451	3,357	4,009	3,441	3,377

(イ) 年齢階級別検診結果

(単位：人)

	受診者数		B型肝炎ウイルス		C型肝炎ウイルス			
	B型	C型	陽性	陰性	高力価	中・低力価	中・低力価	陰性
						HCV 核酸増幅 検査陽性	HCV 核酸増幅 検査陰性	
40歳	399	400	1	398	—	—	—	400
41～49歳	562	563	—	562	—	—	—	563
50～59歳	449	450	2	447	—	—	1	449
60～69歳	1,124	1,133	1	1,123	—	—	—	1,133
70歳以上	823	831	4	819	3	—	6	822
計	3,357	3,377	8	3,349	3	—	7	3,367

ケ 脳ドック

脳血管疾患や脳の疾患の早期発見と予防を目的とした、脳ドック検診を実施している。

(ア) 対象

市内在住の40歳以上の者で、前年度に市が実施する脳ドック検診の受診歴がない者

(イ) 内容及び自己負担金額

内容：問診、血圧、頭部MRI（断層撮影）、頭部MRA（脳動脈撮影）

自己負担金額：16,000円

(ウ) 期間及び場所

4月～3月（宇野病院、岡崎市医師会はるさき健診センター、富田病院、ワシミ整形外科、ありま脳神経外科クリニック）

(エ) 募集人数・受診状況

(単位：人)

	R3年度	R4年度	R5年度
募集人数	1,000	1,000	1,000
受診者数	891	820	659

(オ) 年齢階級別受診者数及び結果

(単位：人)

	受診者数	結果				
		判定1 (異常なし)	判定2 (放置可)	判定3 (所見あり)	判定4 (経過観察)	判定5 (要精検)
40～49歳	78	47	19	3	2	7
50～59歳	168	86	49	6	15	12
60～69歳	185	38	89	15	33	10
70～79歳	197	10	94	39	38	16
80歳以上	31	1	14	5	7	4
計	659	182	265	68	95	49

コ 肺ドック

肺がん等の早期発見と早期治療のために、肺ドック検診を実施する。

(ア) 対象

市内在住の40歳以上の者。ヘビースモーカー（多量にたばこを吸う者）、咳や痰が繰り返し出る、家系に肺がん既往者がある、肺の病気が不安な方推奨

(イ) 内容及び自己負担金額

内容：問診、喀痰細胞診検査（3日法）、胸部エックス線直接撮影、胸部ヘリカルCT撮影

自己負担金額：10,500円

(ウ) 期間及び場所

11月～2月（岡崎市医師会はるさき健診センター）

(エ) 募集人数・受診状況（単位：人）

区分	R3年度	R4年度	R5年度
募集人数	30	30	30
受診者数	20	22	16

(オ) 年齢階級別受診者数及び結果（単位：人）

受診者数	結果			
	判定1 (異常なし)	判定2 (放置可)	判定3 (経過観察)	判定4 (要精検)
16	1	2	12	1

(3) フォローアップ事業

ア 肝炎ウイルス陽性者

肝炎による健康障害の回避、症状の軽減又は進行の遅延を図ることを目的に、肝炎ウイルス検診結果陽性者等に対し、肝炎ウイルス感染の状況を認識させ、必要に応じて保健指導等を行い、適切な医療機関の受診につなげている。

本事業は厚生労働省肝炎等克服政策研究事業「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究」に情報提供等を行い結果分析している。

また、平成27年度から「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業の実施について（平成26年3月31日健肝発0331第1号厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室長通知）」に基づく、愛知県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業の「検査費用助成事業」を利用した精密検査受診をすすめている。

(ア) 対象

岡崎市に住所を有し、平成20年度から令和5年度までに肝炎ウイルス検診を受診したもののうち、下記の①②に該当する者

① HBs抗原検査において「陽性」と判定されたもの（以下「B型」）

- ② C型肝炎ウイルス検査において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者（以下「C型」）

(イ) 内容

年1回、調査票を送付し、医療機関受診状況・服薬状況等を把握する。令和5年度受診者については、医療機関受診を勧奨するとともに、事業について案内し、次年度以降の継続支援につなげている。

(ウ) 支援状況

(単位：人)

	対象者数	調査票回答者数	調査票回答者数のうち、 医療機関受診者数
B型	246 (8)	90 (－)	73 (－)
C型	96 (3)	31 (－)	30 (－)
B型+C型	1 (－)	0 (－)	0 (－)

※ () 内は令和5年度受診者を再掲

イ がん検診要精密検査者

(ア) 対象

令和4年度、令和5年度に胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診を受診した者のうち、要精密検査と判定された者（ただし、子宮頸がん個別検診受診者は除く。）

(イ) 内容

	対象者	方法	実施
検診結果報告及び初回受診勧奨	要精密検査者（子宮頸がん個別検診受診者は除く）	検診受診後約3週間頃に、郵送で検診結果を通知し、精密検査受診を勧奨する。	岡崎市医師会委託
再勧奨	初回受診勧奨後、精密検査受診結果が確認できない者（子宮頸がん個別検診受診者は除く）	検診受診後約3か月時点で、郵送で精密検査受診状況を調査するとともに、精密検査受診を勧奨する。	岡崎市医師会委託
再々勧奨	再勧奨後、精密検査受診が確認できない者のうち、40歳から69歳までの者（子宮頸がん個別検診受診者・胃内視鏡検査受診者は除く）	検診受診後約6か月時点で、郵送で精密検査受診を勧奨する。	健康増進課 保健師

(ウ) 令和4年度精密検査受診の有無 把握状況

(単位：%)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
精検受診率	77.7	84.7	66.1	76.5	90.0
精検未受診率	—	—	—	—	—
精検未把握率	22.3	15.3	33.9	23.5	10.0

7 岡崎市生活習慣病対策会議

健康増進法に基づき実施する生活習慣病対策を効率的・効果的に実施するため、各種健康診査の分析・評価を行うとともに関係機関の連絡体制の確立を図ることを目的に、専門家で構成する岡崎市生活習慣病対策会議を開催している。

(1) 開催状況

日時：令和5年8月3日 午後1時30分～午後3時 会場：岡崎市保健所 会議室	内容 ・令和4年度がん検診実施結果等報告 ・令和5年度のがん検診等実施計画
--	---

(2) 委員

所属	氏名
愛知医科大学 医学部 衛生学講座 教授	鈴木 孝太
一般社団法人岡崎市医師会 会員（消化器科医師）	齋藤 祐一郎
一般社団法人岡崎市医師会 理事（呼吸器科医師）	三治 宏司
一般社団法人岡崎市医師会 理事（産婦人科医師）	鈴木 孝信
一般社団法人岡崎市医師会 会員（乳腺科医師）	大浜 寿博
一般社団法人岡崎市医師会 公衆衛生センター センター長	山田 珠樹
岡崎市民病院 産婦人科 部長	野坂 和外
岡崎市民病院 医局次長 乳腺外科統括部長	村田 透
岡崎市保健所 所長	片岡 博喜

8 患者・家族支援

(1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン

がん征圧・患者支援チャリティイベント（リレー・フォー・ライフ・ジャパン岡崎実行委員会主催・市共催事業）については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) アピアランスケア用品購入費補助事業

ア 目的

がん患者が必要とする医療用ウィッグ等の購入費に対して補助金の交付を行うことにより、がん患者の精神的・身体的・経済的負担を緩和し、がんとの共生社会を推進する。

イ 対象

- (ア) 申請日時時点で、岡崎市に住民票があるかた
- (イ) がんの治療に伴う脱毛等の症状により医療用ウィッグ等を必要とするかた、または外科的治療による乳房の変形に対する補正具を購入したかた
- (ウ) 過去に県内市町村において同種の補装具について補助金を受けていないかた

ウ 内容

1人につき購入金額の2分の1の額で、上限2万円まで

エ 周知方法

市政だより、ホームページに掲載
愛知県内のがん相談支援センターに情報提供

オ 補助件数

(単位：件)

	R3年度	R4年度	R5年度
ウィッグ	110	131	139
乳房補正具		14	24

カ 助成額

(単位：円)

	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
ウィッグ	2,065,000	2,578,000	2,687,000
乳房補正具		261,000	386,000

(3) 若年がん患者在宅ターミナルケア補助事業

ア 目的

末期と診断された若年がん患者のかたが、住み慣れた自宅で安心して療養生活を送ることができるよう、在宅療養にかかる費用に対する補助を行う。

イ 対象

- (ア) 申請日及びサービス等の利用時点で、岡崎市に住民票があるかた
- (イ) 年齢が40歳未満のかた
- (ウ) がんと診断されたかたで、医師に一般的に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと診断のあったかた
- (エ) 在宅における療養生活の支援及び介護が必要なかた
- (オ) 他の制度において同等の補助または給付を受けることができないかた

ウ 内容

申請の上限額：在宅サービス、福祉用具の貸与、福祉用具の購入の費用の総額 6万円/月

補助金額：申請額の9割（上限額54,000円 1,000円未満切り捨て）

自己負担額：申請額の1割相当

エ 周知方法

市政だより、ホームページに掲載

愛知県内のがん相談支援センター、NPO法人ミーネット（がんサポートほっとライン）に
情報提供

市内の訪問看護事業所、地域包括支援センターに情報提供（いえやすネットワーク）

オ 補助件数

0件

カ 助成額

0円